

## トモネット英語塾 週刊英語レポート講座



**Destiny is not a matter of chance, it is a matter of choice;  
it is a matter of choice; it is not a thing to be waited for,  
it is a thing to be achieved.**  
(ベタな写真で恐縮ですが・・・ワイキキビーチです。実際は寒いです 苦笑)

## 著作権について

『トモネット英語塾、週刊英語レポート講座』（以下、本書と表記）は著作権法で保護されている著作物です。本書の使用に際しましては、以下の点にご注意ください。

1. 本書の著作権は、トモネット英語塾にあります。
2. トモネット英語塾の書面による事前許可なく、本書の一部または全部をあらゆるデータ累積手段（印刷物、電子ファイル、ビデオ、テープレコーダー等）により複製、流用および転載、転売することを禁じます。

## 使用者許諾誓約書

本契約は、本書を購入した個人・法人（以下、甲と称す）と、トモネット英語塾（以下、乙と称す）との間で合意した契約です。本書を甲が受け取り、パッケージを開封することにより甲はこの契約に同意したことになります。

### 第1条 本契約の目的

乙が著作権を有する本書に含まれる情報（ノウハウ等）を 本契約に基づき甲が独占的に使用する権利を有するものです。

### 第2条 禁止事項

本書に含まれる情報は、著作権によって保護されています。甲は本書から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・公演活動および電子メディアによる配信により一般公開することを禁じます。特に第三者に渡すことを厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織（販売店・代理店等）においてのみ本書に含まれる情報を使用できるものとします。

### 第3条 契約の解除

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合は、乙は使用許諾契約書を解除できるものとします。

#### **第4条 損害賠償**

甲が本契約の第2条に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、その違約金として、違反件数と販売価格を乗じたものの15倍の金額を支払うものとします。

#### **第5条 責任の範囲**

本書の情報の使用責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても、乙は一切の責任を負いません。

「トモネット英語塾、週刊英語レポート」

著者(著作権者): 中西 智裕

## ■ はじめに

こんにちは、中西です。

ハワイで撮った写真をまとめながら、あー、いい思い出になったなあーとそんなことを思いつつ、

ハワイっていうのはひょっとしたら世界で最も日本に近い場所なんじゃないかなーと勝手にしてます。

そこにいる人たちというか、雰囲気というか、人に感謝するというのがある種の文化になっているような感があるんですね。

言葉も Mahalo、Ono、Ohana などなど。

たとえば、日本だと富士山に登ったとか、仕事をするとか、何でもいいんだけど、こういうときは根っこの部分に富士山に登らせてもらったとか、仕事をさせてもらっているとか、何というか、文化的な背景としての考え方がある。

だれも富士山に登ったって、エベレストに登ったって征服した何て言わないしね(笑)。

そーゆー風土、文化がある場所というのは、世界中見渡しても、そうはないのかなーと、そんなことを思った次第です。

ボクもかれこれ、2年間、このレポートを書かせてもらっている。

みなさまのおかげさまだなーと。

ボクの文章は決してうまくはないんだけど、それでも読んでくれる人がいて、それに対してありがとうと言ってくれる。まだまだ上に上を目指さなきゃなーという気持ちになるわけです。

日々精進。

## ■ オフェンス！！

セミナーでも何度も繰り返し話してきたし、  
ここでも既に話したのは、1度や2度じゃないはず。

何度も、何度も一貫していつて来ている事がある。

それは、「情報に洗脳されてはいけないよ」って事。

洗脳という言葉は人によってはキツイかもしれないが、

実際、あなたがどんなにがんばっても  
TV や新聞を見ている限り、少なからずその影響を受ける。

そして、TV や新聞の取り上げるニュースと言えば  
あなたもご存知の通り、ボクらが嫌いな「悪いニュース」ばかり。

なぜ、悪いニュースばかりがこうも取り上げられるのかというと  
単純にお金になるからだ。

ボクの友人が某テレビ局、新聞社に勤めているし、  
彼らから直接、聞いている限りはまず間違いない。

恐怖を売るというと  
どーしようもない響きだけれど、

彼らは、大不況、貧困問題、株価暴落、  
派遣村、殺人事件、少年犯罪、

マスコミは、芸能人に関するえとせとら・・・

ぶっちゃけ、これらのほとんどがボくらにとっては直接関係ないものであるにも関わらず、TV や新聞を読んできると自分にとっても、いかにも重大な問題のように思えてしまう。

(ボくらにとって重大なニュースは、口内炎が出来たの、顔ににきびが出来たの、痔になったの、本当はそっちの方が重要だったりするのに。)

こんな状況がずっと続くとうなるのか？

ほぼ確実に、自分の将来に対して意味もなく漠然とした不安や心配が広がり、その不安や心配が原因で本来のゴールや自分の理想のライフスタイルが頭の中で不安に負けてしまう。

寝る前に頭の中にあるチャンネルを負のイメージにあわせておくともれなく、悪い夢が見れるし、朝は寝起きが悪く体が重い。

それと一緒にことだろうと思う。

結果、不安・心配が毎日の主な感情になってしまう。

そして何より、嫌な出来事ばかり毎日考えていたらボクらの脳や体はそれを実現する方向に動いてしまう。  
(実現したら、あなたは「やっぱりね、そら見たことか」と言うだろう。)

だからこそ、メディアから発せられるネガティブな情報からは全力をあげて、ボくらには自分自身で自分の身を守らなければ行けない。

と、去年からこんな話をしているので、

さすがに最近はおくのまわりでも意識をしてくれている人が多くなってきたことには嬉しく思う。

それで、だ。

実は情報への対抗策としてひとつ、  
何というか、よりアグレッシブにやる事もできる。

今までの話はどちらかというと、

ネガティブな情報から身を守るんだよと、  
ディフェンス的な話だった。

一方、逆に自分からポジティブな情報を取りにいくという  
オフェンス的な考え方もすることができる。

たとえば、株価は徐々にだが、  
上昇する傾向を見せ始めている。

たとえば、イチローがさらに自己記録を更新し  
限界へと挑戦し続けている。

たとえば、マイケルジャクソンのオークション(総額20億円)に  
注文が殺到したとか(結局はキャンセルになったみたいだけど。)

たとえば、浅田真央ちゃんがフィギアで金を獲ったとか。  
(ちなみに、真央ちゃんがスケートの練習をしていた場所は、ボクが初めて子ども会  
でスケートをした場所であり、大須はボクもよく行っていたデートスポットだ 笑。)

と、そんなニュースばかりに接していると

不況だのどーのこーのと言う話からは全く何の影響も受けなくなる。

不況の話ばかり聞いとるとあたかも

お金が世の中から無くなったように感じれるが、  
実際はそうではない。

お金は今でも世の中にあふれている。  
(100年前と今とでは、お金の量は相対的に多くなっているし、生活の質は圧倒的に  
向上している。徳川家康だって、暖房、クーラーが装備されている部屋に入ったことは  
ないのだ。)

その証拠はちょっと目を凝らせばたくさんを見つけることができる。

そして、将来に希望が持て

楽しく毎日を過ごす事ができる。

いつか目標を達成してやると思って毎日を前進して過ごすのと、

これから先はどうなるんだろう？

と不安一杯で毎日過ごすでは、人生の質が変わる。

「人生の質」

時間の管理にも似ているけれど、

イチローがバッティングの質を高めることに人生を捧げているように、  
ボクらも、自分の人生の質を上げることに全力をあげて取り組むべきだと思う。

「いい影響を受ける情報」で武装する。

このレポートがその1つであれば、ボクはサイコーに嬉しいけどね。

ちなみに、イチローの実家はボクの実家から自転車で15分くらい。  
イチローが練習をしていたバッティングセンターも近いのだ。

ってどうでもいいよね(笑)。

それでは、本文です。



■ attend the wedding?それとも、go to the wedding?

次の日本語を瞬間的に英語にして、声に出してみてください。

状況は、毎週末つづく、友人の結婚式ラッシュ。

顔が広いあなたは、あっちもこっちもで週末は大忙しだ。

そんな中、友人同士の結婚式が重なってしまったため、  
あなたはどうしても一方には参加できなくなってしまった。

そこで、こんな一言。

**「昨日の結婚式に行けなくて(参加できなくて)本当にごめん。」**

細かいことはあーだ、こーだ考えず、  
思い切って英語にして声に出してみましょー！！

さあ、どうぞ！

それでは、解説です。

今回用意した英文はこの2つ。

I'm sorry I didn't **attend** your wedding yesterday.

I'm sorry I didn't **go to** your wedding yesterday.

言葉というものは、日本語であれ英語であれ、  
使う場所や話す相手によって使い分けが必要です。

この使い分けができるとコミュニケーション能力(自分が伝えたいニュアンスを正確に相手に伝える力)を高めるひとつのカギになるわけですが、

やっかいなことは学校の英語教育ではその辺のところは  
かなりないがしろにされている。

たとえば、動詞の attend は「参加する・出席する」という意味で  
そのまま日本語に置き換えて暗記した人も多いんじゃないかと思います。

なので、「友だちの結婚式に出席する」というのは、何の疑いもなく  
attend the wedding (of my friend)とやってしまうわけですが、

attend というのは、**改まった状況で使われる、どちらかというと堅い感じの語**なので、  
友人の結婚式や友だちの誕生パーティーに出席するようなときはあまり使わないで  
す。

なので、日常会話としては、

I'm sorry; I didn't go to your wedding yesterday.

I'm sorry; I wasn't at your wedding yesterday.

I'm sorry; I didn't make it to your wedding yesterday.

などと言うのが無難というか、フレンドリーな会話なんじゃないかなーと思います。

attend というのは、

義務的に学校だとか、会議、儀式(法事)などに出席、参例するというニュアンスがあるので、使うとしたら、こんな具合になると思います。

A large number of people attended the funeral.

「たくさんの人たちが葬儀に参例した。」

I attended the seminars for one month.

「私は一ヶ月間、セミナーに参加した。」

知ってしまえば、何のその。

是非、あなたの経験などと結び付けて、一度、英文にしてみてくださいね。

## ■ 最後に

Destiny is not a matter of chance, it is a matter of choice;  
it is a matter of choice; it is not a thing to be waited for,  
it is a thing to be achieved.

William Bryan

「運命とは偶然の支配するものではなく、あなたの選択にかかっている。  
運命は待っていてもやってこない。つかみとって成し遂げるものなのだ。」

圧倒的にマイナスと思える状況の中でマイナスな側面だけを見続けるのか、  
それとも少しでもプラスの存在を信じて、懸命にそれを探そうとするのか。

マスコミの“仕事”はマイナス面を大々的に取り上げることだ。

あなたはどうかだろうか？

『トモネット英語塾』

塾長 中西 智裕